


# 日本の医療をよくするための視点として 新たな医療の在り方



キリスト教の愛の心が 人の悩みを救うために働けば  
苦しみは消えて その人は生まれ変わったようになる  
この偉大な愛の力を だれもがすぐわかるように  
計画されてできた 生きた有機体がこの病院である

聖路加国際病院 山内英子

# 医師がワークライフバランスを保てない原因と対策

時間的拘束

医師不足

仕事内容の困難さ

付き合い

多大な責任



## 時間的拘束の対応策

住民を健康にする

勤務時間・柔軟化

遠隔医療の充実

薬を治す薬を作る

シフト制

医療の機械化

サービス残業禁止

アルバイトで生活

医師の補助職を充実

残業代出す

ストライキ

医師の数を増やす

仕事の引き継ぎを容易にする

# 日本の医療をよくするための視点として 新たな医療の在り方

## 1. 病人を減らすー予防医療の発展

- ゲノム医療の発展
- Precision Medicine
- Value-based medicine
- ゲートキーパーとしてのかかりつけ医

## 2. 人材を増やすーMid-level practitioner

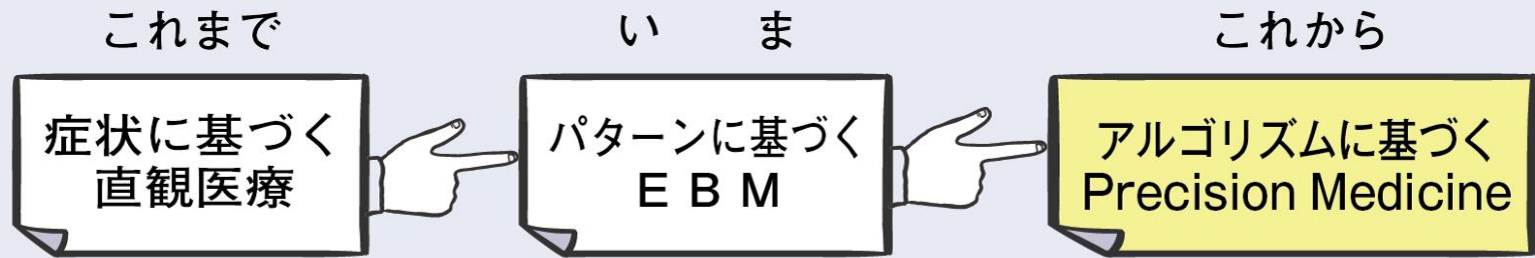
- 看護および介護の担い手
- 役割分担
- 2025年問題

## 3. Medical Literacy

- 情報発信の改善
- 個々の選択とリスクに対する自己責任
- 死に対する考え方



# Precision Medicine



実用的臨床意志決定支援・的確かつ効率的な診療を可能に



遺伝子情報、環境要因、生活習慣などに基づいて、患者を”罹りやすい疾患”で分類し、集団ごとに疾病予防と治療法を確立する医療

# 予防効果を最大限にする為には？



## 検診効果の向上

検診診断技術の向上  
検診率の向上  
検診の啓発

## 検診の不利益

過剰診断  
偽陽性  
被爆  
精神的負担



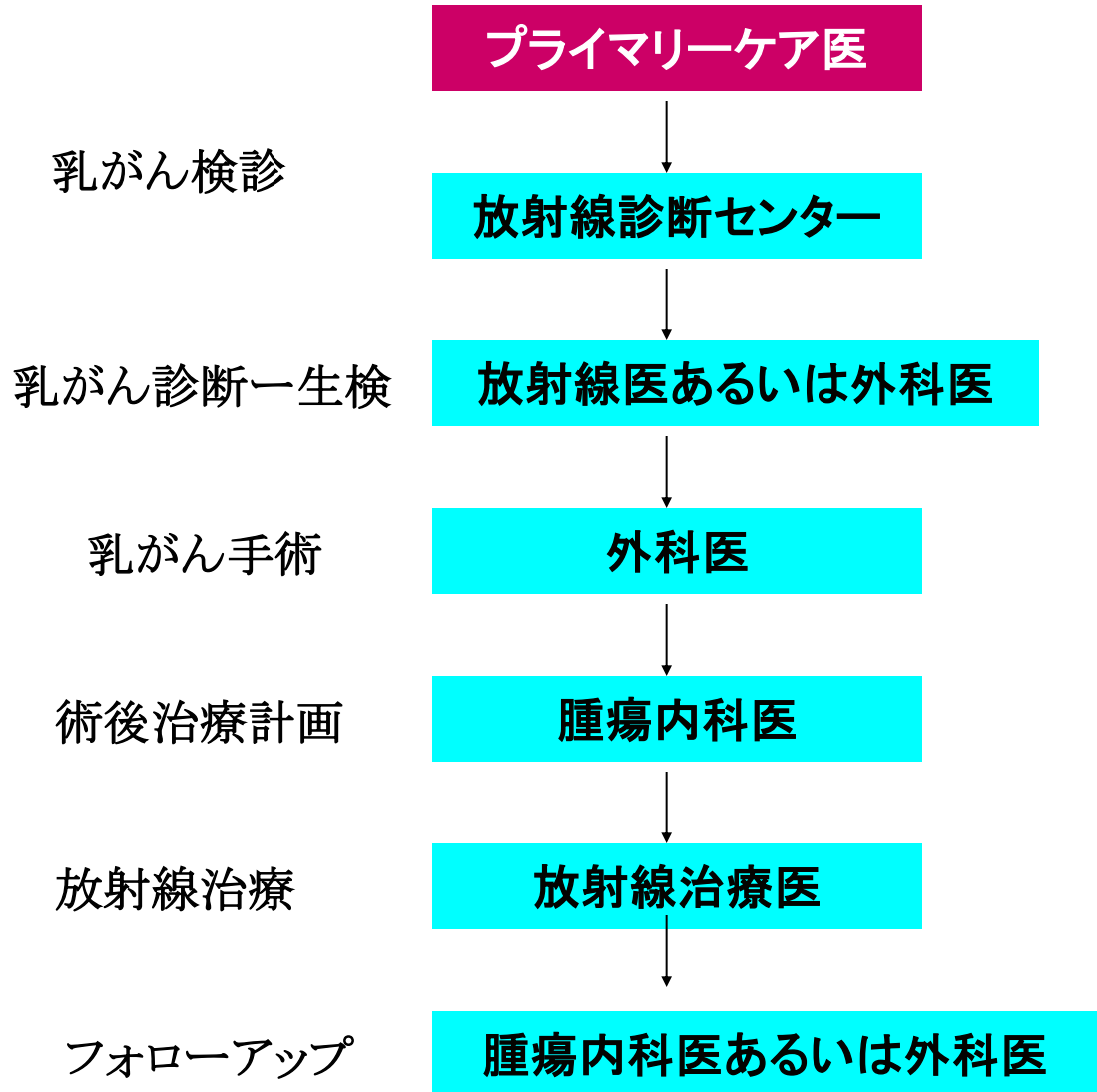
## 予防効果の 更なる向上

リスクに基づいた  
個別化検診  
病気になる前の予防

# かかりつけ医

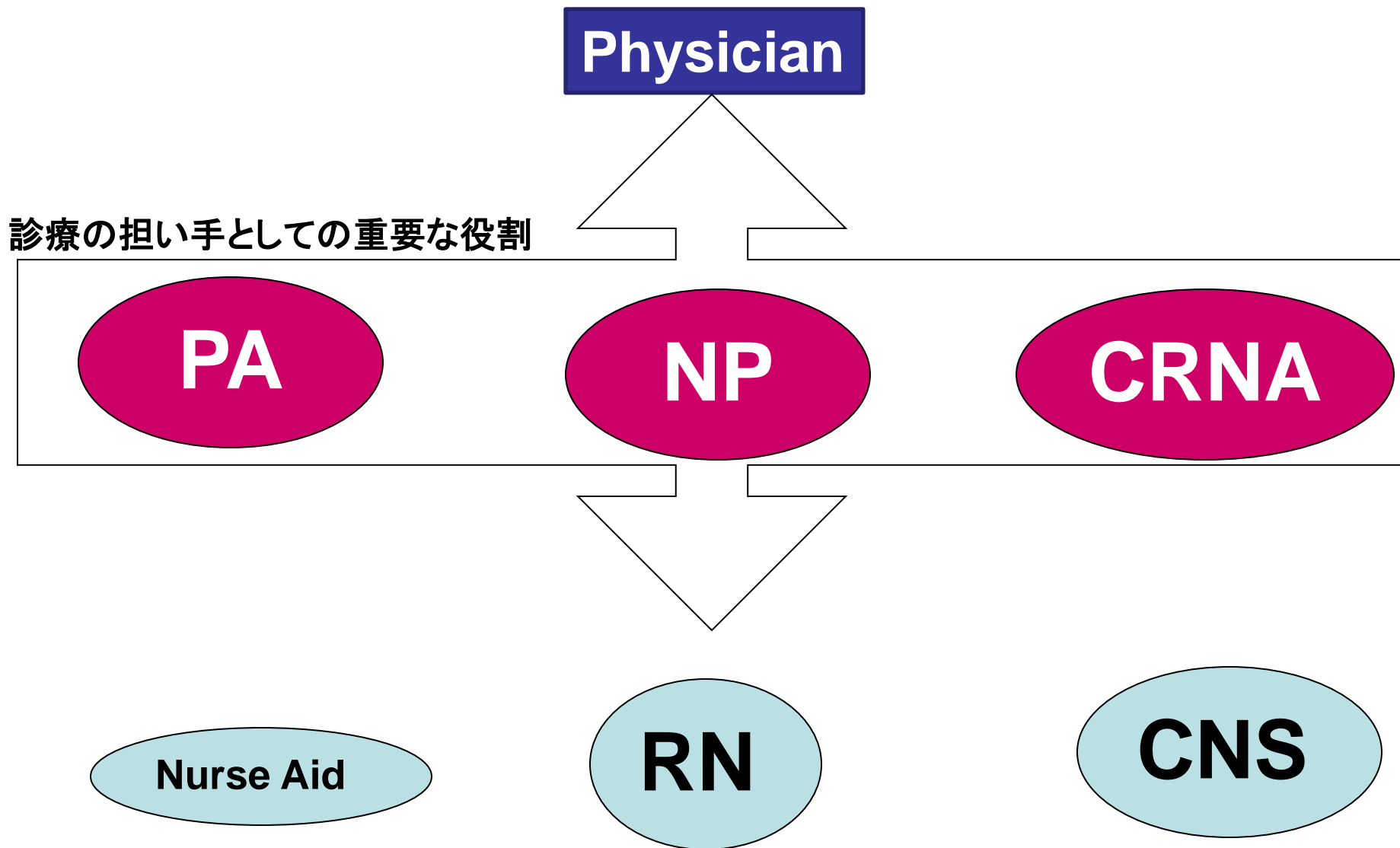
例)アメリカでの乳がん診療

- ゲートキーパー的なかかりつけ医の存在
- 家族歴を考慮した検診
- 保険契約者の義務としての受診
- 処方箋の無駄を省く
- 医療費の節約
- 地域医療の担い手となる
- 患者と家族を把握
- 在宅での看取り



# 医師と看護師の中間レベルの充実

nurse practitioner(NP)、およびphysician assistant(PA)





# 検査の信頼性 (ACCE)

A (Analytical validity)  
分析的妥当性

検査法確立、再現性など  
精度管理

C (Clinical Validity)  
臨床的妥当性

感度, 特異度, 陽性的中率など  
検査結果の意味付け



C (Clinical Utility)  
臨床的有用性

予後情報が得られる,  
予防・治療など介入方法がある  
臨床上のメリットがある。  
生命予後・QOL・医療経済

E (Ethical Legal and  
Social Issues)  
倫理的法的社会的問題

DTC  
(Direct to customer)は?????